

事後評価シート

コード 4-2-2	事務事業名 表彰事務	所管部課 市民生活部産業振興課
--------------	---------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 (技能功労者表彰) 永年にわたり同一職業に従事し、技能及び技術の練磨並びに後進の指導育成にあたり産業振興に顕著な功績を修めた者を表彰することにより、当該者の発奮を喚起し、なお一層の地域産業の活性化を図る。 (商工業従業員表彰) 永年にわたり同一事業所に勤務する従業員を表彰し、定着率の向上及び雇用の確保を図ることにより、地域経済の活性化に寄与する。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 (技能功労者表彰) 市内に5年以上継続して居住し、30年以上の経験年数、満60歳以上のもので、年1回表彰する。 (商工業従業員表彰) 優良従業員表彰(勤続10年以上) 永年勤続表彰(20年以上・30年以上) 特別表彰(45年以上)	根拠法令等 西東京市技能功労者表彰規則 西東京市商工業従業員表彰協定書
事業開始時期	平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 技能功労者表彰推薦者数	活動指標の考え方(定義) 各団体からの表彰推薦者数(技能功労)
	商工業従業員表彰推薦者数	会社からの表彰推薦者数(商工業従業員)
	成果指標名	成果指標の考え方(定義)
	1次 技能功労者表彰者数	1次 表彰審査委員会により決定した表彰者数
	1次 商工業従業員表彰者数	1次 決定した表彰者数(商工業従業員)
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	956	956	928	789
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		956	956	928	789
	所要人員(B)	人	0.21	0.21	0.21	0.21
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,737	1,749	1,719	1,719
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,693	2,705	2,647	2,508
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (技能・商工業・表彰推薦者数)	千円	24	22	23	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	人			20	
	実績値	人	13	20	18	
活動指標	目標値	人			130	
	実績値	人	98	102	97	
1次成果指標	目標値	人			32	
	実績値	人	13	20	18	
1次成果指標	目標値	人			97	
	実績値	人	98	102	94	
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	各推薦団体の対象者が減少しているため、被表彰該当者を推薦するのに苦慮している。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	(技能功労者表彰)26市のうち約18市で実施している。ただし平成17年度時点で毎年実施している市は10市に留まっている。 (従業員表彰)ほとんどの市町村が実施していない。
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし。

コード 4-2-2	事務事業名 表彰事務	所管部課 市民生活部産業振興課
--------------	---------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	1 上位施策の目的と一致していない・上位施策がない。	▼	1 総合計画等に位置する事業ではないため、他市の実施状況等を参考にして適切な目的・目標の設定が必要となる。
	3 市が独自に目標を定量的に設定している	▼	
	3 どちらかと言えば、実施した方がよい	▼	
2 市が必要とする必要性	3 法律での規定はないが条例で実施することが規定されている	▼	3 表彰対象者は限定されるが、その効果は市民に還元されるものであるため、市が主催すべき事業である。
	1 希望する一部の市民等以外にあまり関係がないサービスである	▼	
	4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	
3 内容の適切さ	1 市民(市内)ニーズが把握できていない、または、ニーズ把握が曖昧で説明できない	▼	1 他市の実施状況等を参考にして、適宜見直す必要がある。
	3 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	▼	
	1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民または団体である	▼	
4 実施手段の適切さ	4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	4 他市の実施状況等を参考にして、適宜見直す必要がある。
	2 市直営の中で具体的な計画や目標等に基づきコスト低減に取り組んでいる	▼	
	3 国や都に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある	▼	
合計		29	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>表彰及び感謝状の贈呈は、表彰者の市政への貢献による効果を受ける市民を代表して、市が謝意を表すものであり、本来の事業趣旨からすれば費用対効果の検証は行い難い事業である。(技能功労表彰)他市との比較及び当市の現状を鑑み、隔年実施等も視野に入れて見直す必要があると思われる。</p> <p>(商工業従業員表彰)他市の現状を鑑み、休止・廃止等も視野に入れて見直す必要があると思われる。</p>

18年度における改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・記念品や1人当たりのコストなど運営全般において、事業改善を図る。 ・今後、部門別ではなく市全体の表彰事務の統合を検討していく。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>技能功労者表彰における表彰基準について、経験年数、年齢に関わりなく表彰できるよう再検討する必要がある。また、商工業従業員表彰については、本来、市が行うべき事業が疑問がある。当面、表彰対象者の改正等に取り組み、将来的には廃止すべきものとする。また、事務効率化の視点から、総務部秘書課が実施している表彰事務への事業統合の可能性を検討すべきである。</p>
------	---	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>技能功労者表彰については、表彰基準を見直した上で、事務効率化の視点から、同様に表彰事務を行う総務部秘書課と調整し、事業統合の可能性や表彰のあり方等を検討されたい。なお、商工業従業員表彰については、産業振興策としての効果だけでなく、市が関与する必要性自体についても他市の現状に鑑み、廃止も視野に再検討が必要と思われる。</p>
--------	---	---